

上手に使おう 横浜の水

～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

「はまっ子どうし The Water」で **アフリカ支援!**

JICA 基金に寄附を行います!

水道局では、2008年に第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)が横浜市で開催されたことを契機に、横浜市オフィシャルウォーター「はまっ子どうし The Water」の売上の一部を独立行政法人国際協力機構(JICA)基金に寄附してきました。

今年度もアフリカ支援に活用していただくため、寄附金の贈呈式を開催します。「はまっ子どうし The Water」は、これからもアフリカを支援していきます。

～贈呈式～

日時：11月5日(木) 14:00 から 14:30 まで(予定)

場所：JICA 横浜 2階(横浜市中区新港二丁目3-1)

参加者

JICA 横浜所長

熊谷 晃子氏

横浜市水道局事業推進部長

山口 俊宏

アクセス

(JR・市営地下鉄) 桜木町駅から徒歩15分

(みなとみらい線) 馬車道駅4番出口から徒歩8分



昨年度の様子



※はまっ子どうし The Water とは…

横浜市オフィシャルウォーターであり、横浜市の水源のひとつである道志川の清流水を詰めたボトルウォーターです。

また、売上の一部を環境貢献や国際支援のために寄附する等、環境にやさしい社会づくりに貢献しています。

- ・取材を希望される場合は、11月2日(月)までに水道局公民連携推進課にご連絡ください。なお、会場に駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用いただくか、お近くの有料駐車場をご利用ください。
- ・当日の写真を提供することも可能です。

お問合せ先

水道局公民連携推進課長 河合 太一 Tel 045-671-3083

参考

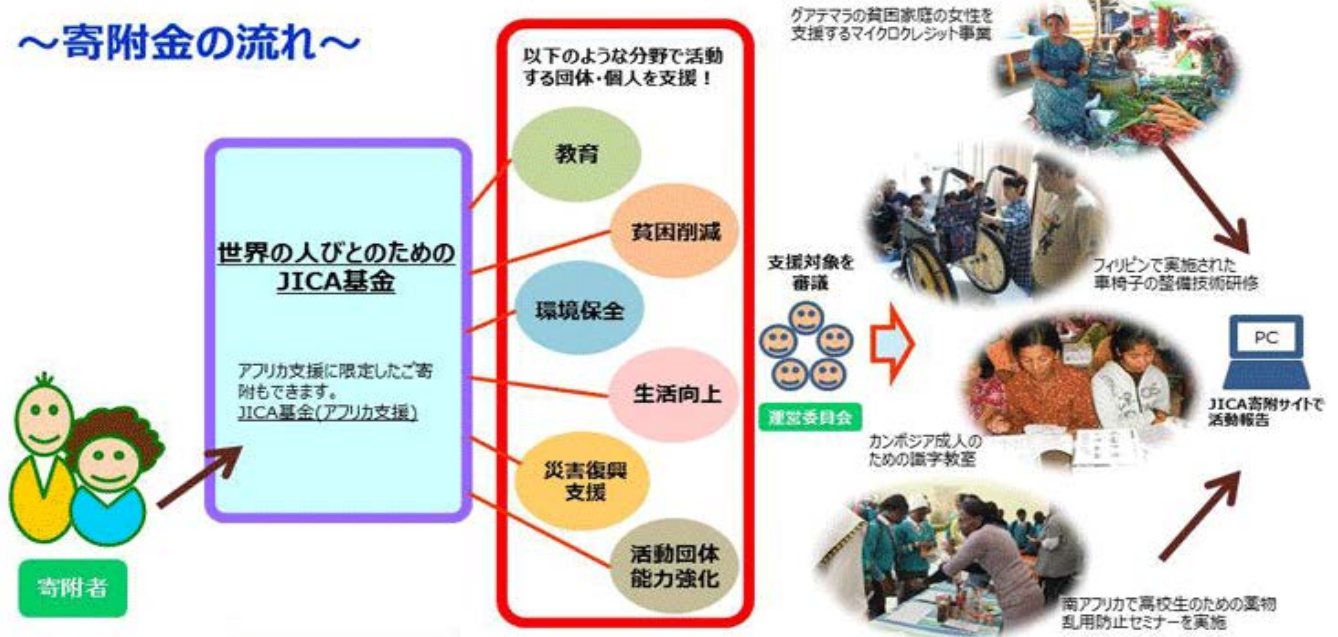
JICA 基金について

「アフリカ問題の解決なくして 21 世紀の世界の安定と繁栄はない」という視点のもと、日本はアフリカの抱える問題に積極的に取り組んでいます。

アフリカは、様々な形で数多くの日本人びとが関わってきている地域ですが、世界の中でも、特に平和で豊かな生活を営めない人びとが多い大陸でもあります。

「世界の人びとのための JICA 基金 (アフリカ支援)」は、アフリカを身近に考え、アフリカの人びとが平和で真に豊かな生活ができるような取組を応援するための寄附制度です。

～寄附金の流れ～



支援例

貧困地区の若者と家族の問題解決の道標となるライフストーリーブックの作成

対象国: 南アフリカ共和国 団体名: ニバルレキレ～I am special!～

貧困地区の若者や家族へのインタビューにより彼らの「ライフストーリー」の冊子を作成し、貧困地域で孤立する人々に配布しました。ライフストーリー作成に参加した若者やその家族が、自分の人生に自信を持ち互いに助け合う機会となるとともに、この冊子を読んだ人々が多様な生き方を知り、自身の問題解決の道標としてもらうことで、その後の就学・就業支援に繋がることを目指しました。

活動を通して、「必要なことは何よりも人と出会うこと。人との繋がりを育てられる人。人を信じる事が出来る人とならなければ助けを求めることが出来ない」「それらを出来る人とは、自分自身を大切にし、自分自身を愛し信じる事が出来る人であり、自分自身について語る人」といった声が聞かれ、生きる上でのヒントを見つけてもらうことが出来ました。



ライフストーリー冊子を確認しながらの話し合い

(写真: ニバルレキレ)